

自分史「本」を作る（工作編）

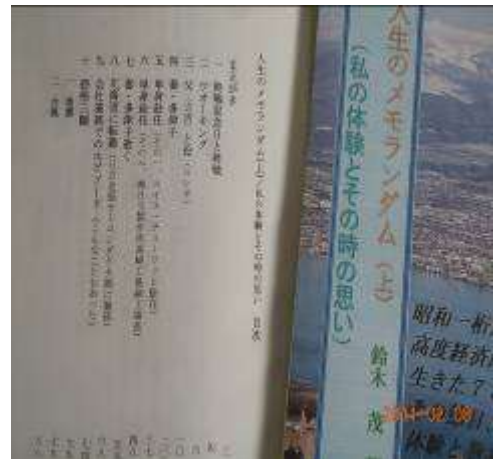
鈴木 茂



1. 梗概

昨年11月に自分史「人生のメモランダム」(上) / (私の体験とその時の思い) を、自費発行した。A5版、縦書き、約150頁、カラー写真を含め写真約70点を収録したものである。

タイピングから製本、装丁すべてを自分の手作りで完成した。小部数であるが、この経験を説明します。パソコンをお使いの方ならば、誰でも製本化は出来るので、皆さんのご参考になれば幸いです。



2. 準備

2. 1 原稿 A5版、「余白」で綴じ代を充分取る

ページNo.を見開き左右端下に入れる、奇数ページの右端上に章の見出しを入れる。

2. 2 印刷 A4版を二つ折にするので、表・裏のページ配分に注意、

3. 製本

3. 1 工具 ①バインダー、 ②のこぎり、 ③木工用接着剤、 ④重し (百科事典で可)、

3. 2 綴じ方 A4版を二つ折りにしたものを一冊分、端がきれいにそろうように重ねて、バインダーでしっかり挟む。図のごとくのかぎりで、深さ1mm程度の溝を1～1.5cm間隔で刻む。

この溝をしっかりと埋めるように接着剤を塗りこむ。(約12時間放置すれば固まる)

- 3. 3 表紙、装丁** バインダーを外して(しっかりと糊付けされていることを確認して)表紙の裏紙、表紙、を綴じ代に張りつける。(先に糊付けした綴じ代にしっかりと固定することが大切、)固まるまで、重しを数時間のせておくこと。

4. 仕上げ

仕上がりを決めるのは、表紙、カバー紙のデザインであるので、あらかじめ準備しておく。又製本後には本の端を揃え切りしないので、最初にバインダーで締め付ける時は端がきちんと揃うように、丁寧に作業を進める。

耐久性は、糸綴じよりも弱いので、取り扱いに多少の注意が必要である。

(以上)